

4. 身近な水環境の全国一斉調査の結果について

(1) 調査の概要

近年、河川や水辺など身近な水環境の保全や修復に関する市民の意識が高まる中、市民や学校の子供たちによる身近な川の一斉調査が1980年代半ばから、多摩川・荒川の流域や霞ヶ浦・琵琶湖の流域など全国各地で行われてきた。国土交通省では、平成16年から市民団体等と連携して、全国の河川や水辺など身近な水環境の水質を一斉に調査し、全国の水環境マップを作成している。平成24年の調査の概要は以下の通りである。

表-41 身近な水環境の全国一斉調査の概要

	全国統一日に 実施された調査	国内で実施された 全ての調査	備考
調査日	平成24年6月3日(日)	平成24年5月7日 ～7月31日	—
参加団体数	515団体 (個人参加含む)	923団体	平成23年は 909団体
調査地点数	2,576地点	5,559地点	平成23年は 5,660地点

(2) 調査のまとめ

傾向としては都市河川での実施率が多いが、水質が良好なCOD 0～3mg/L未満の地点が34%となっている。また、全国マップを見るとまだまだ調査されていない地域や河川が多く見受けられる。日ごろから身近な水環境に関心を持ち調査することが望ましいが、日々の生活の忙しい中で続けていくことは大変であると思われる。年に一回の本調査であっても昨年、一昨年との変化や新しい発見がある。今年の返送された結果の中のコメントでは、調査地点で定点や初めて調査する場所などでも以前は水が豊富にあったと記憶していた地点を実施しようとしたところ、水量が少ない、または無い状態で調査が実施できなかったという報告が52地点もあった。水質調査によるデータもちろん大事だが、このような川や水辺の変化なども貴重な記録になる。本調査では水質マップはもちろん、このようなデータの蓄積を行っていき、参加者の要望に応じて過去の状況をフィードバックしていけるようにしていきたい。そのためにも、日本を網羅した調査で100年の眼を持って、経年的に続けることを目指していきたい。全国水環境マップを図-54に示す。

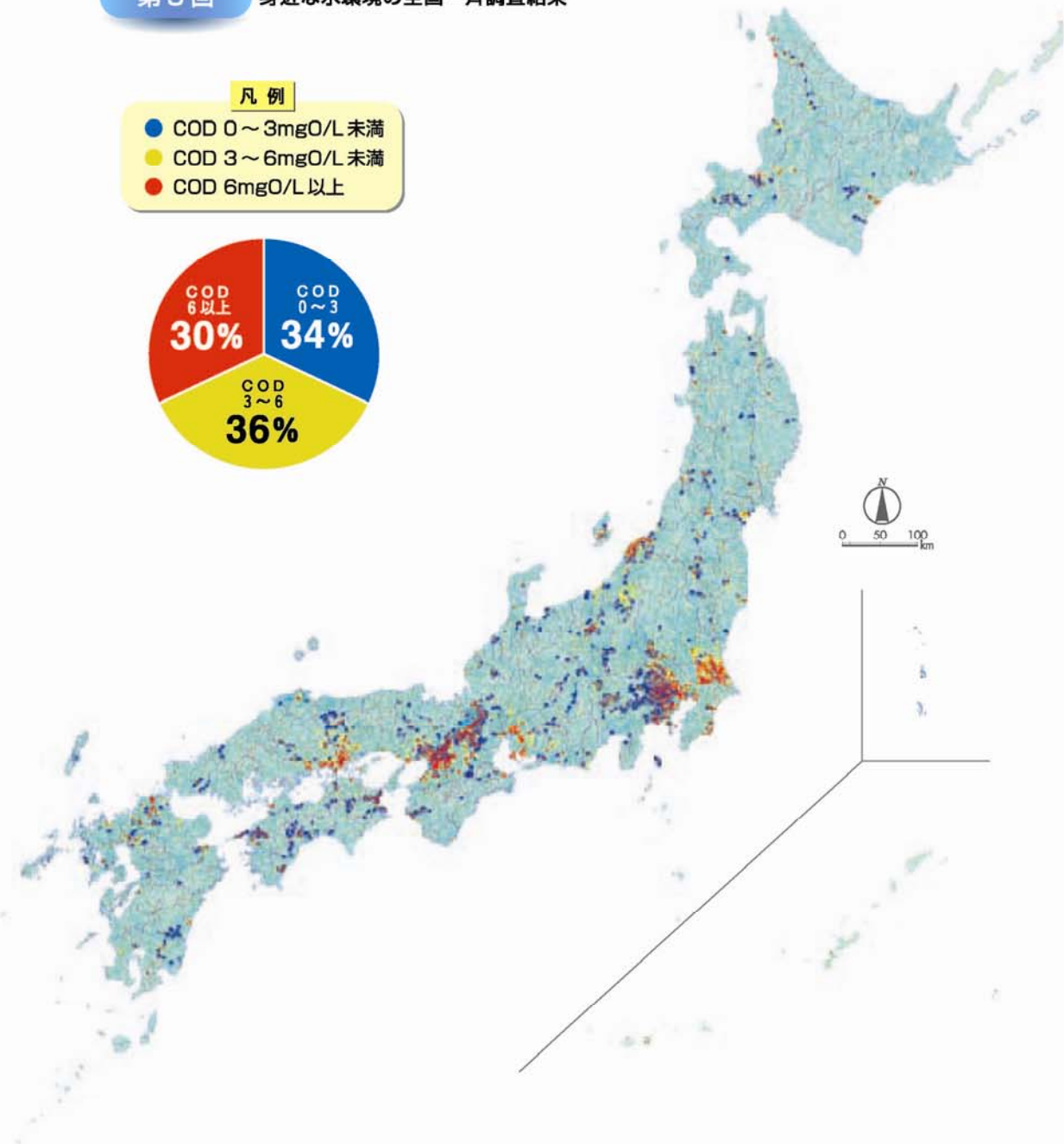
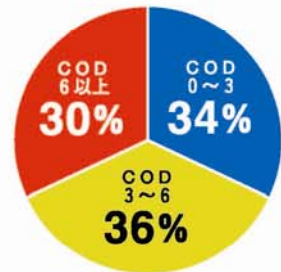
III 調査結果の概要

2012全国水環境マップ

第9回 身近な水環境の全国一斉調査結果

凡例

- COD 0～3mgO/L 未満
- COD 3～6mgO/L 未満
- COD 6mgO/L 以上



5 身近な水環境の全国一斉調査 2012 / 調査結果の概要

2004全国水環境マップ

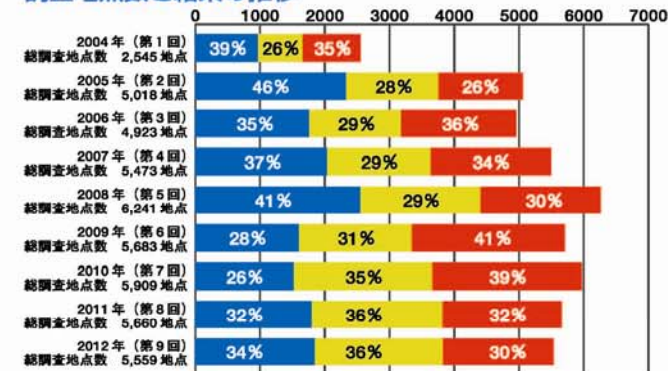
第1回 身近な水環境の全国一斉調査結果
水質調査の結果と分布

凡例

- COD 0～3mgO/L 未満
- COD 3～6mgO/L 未満
- COD 6mgO/L 以上



調査地点数と結果の推移



- COD 0～3mgO/L 未満
- COD 3～6mgO/L 未満
- COD 6mgO/L 以上

身近な水環境の全国一斉調査 2012 / 調査結果の概要 6

図-54 全国水環境マップ